

平成23年度  
事業報告書

千葉県千葉市中央区中央港一丁目12番11号  
財団法人千葉県薬剤師会検査センター

# 平成 23 年度 事業報告

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、多くの尊い人命と貴重な財産が失われ、さらに福島第一原子力発電所事故による放射性物質汚染は深刻な状況であり、今なお多くの方々が避難生活を強いられています。

ここに改めて、ご冥福をお祈りするとともに、復旧と復興を念願します。

平成 23 年度、財団法人千葉県薬剤師会検査センター（以下、当財団という）が実施した事業を次のとおりご報告いたします。

## I 事業概況

平成 23 年度においては、欧州の債務危機や米国経済の停滞等に起因した円高が進行し、国内経済も停滞してデフレ状態の下で低価格化傾向が一段と高まりました。また東日本大震災、放射性物質汚染や自然災害の影響もあり、企業活動の低迷が続いています。

この様な厳しい経済環境の中で、当財団では法令を遵守し、顧客の要求に迅速・的確に答えられるよう、試験検査技術・技能の研鑽と精度管理の維持向上を図ってまいりました。特に原子力発電所事故に伴う放射性物質の飲料水や土壌等への汚染が深刻な社会問題となっていたことから、社会的責務を果たすべきであると判断し、精密測定装置を他の検査機関に先駆けて導入しました。

技術検査部門では、検査料金の低価格傾向が定着化しており、価格面で厳しい環境が続いていますが、放射性物質の検査で事業収入は大幅に増加しました。

食品検査部門では、年度当初の計画停電実施の影響と命令検査の受託減少及び命令検査の解除などにより減収となりました。

製品安全検査部は、大口顧客の被災の影響により減収となりました。

医薬品及び医薬部外品などの新規事業については、製薬企業などへの積極的な営業活動を行うとともに、検査機器及び施設の整備に努めたところであり、着実に実績を上げてきました。

品質保証部では、当財団が実施する試験検査業務の持続的な検査精度と信頼性を確保するため、定期的な内部監査と内部点検を厳格に実施するとともに各部門が参加した外部精度管理の結果を評価し、常時適正な業務が行われるよう努めています。

非収益事業については、（財）千葉ヘルス財団等へ寄付を行なったほか、インターンシップ研修の受け入れや講師派遣を行うとともに、今年度も（社）全国給水衛生検査協会主催の「クリプトスポリジウム実務者研修会」では研修場所の提供ならびに技術指導を行いました。